

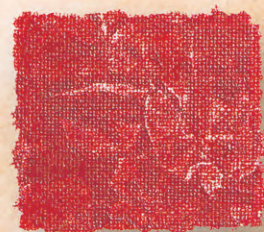
道
守

みちもり

MICHIMORI
TSUSHIN

通信

vol.35 秋号



みちづくし in 佐賀 2018

わくわくドキドキ輝く道守
～道守の一人一人が主役～

サイクリングと観光を組み合わせた
「サイクルツーリズム」
～地域の魅力・環境・健康アップ～

平成29年度認定

九州風景街道マイスターの横顔

古代から、道は人々の共有財産であった。力を合わせ道普請し、守ってきた。道は街を作り、産業を興し、文化を運び、人々を結びつけた。つい、この間まで、子どもたちがキャッチボールし、縄跳びなどで、明るい歓声が響いていた。お年寄りらは、縁台で将棋をさし、ほうきで道を掃き、水を撒くお母さんの姿もあった。そんな「日本の原風景」は何処へ行ったのだろう。

確かに、高速道路やバイパスなど、道は整備され、日本の高度経済成長を支え、豊かな暮らしをもたらした。しかし、多発する事故、渋滞、大気汚染、騒音。何より、車優先社会は、人々の心を道から遠ざけてしまった。自宅前のごみや雑草さえ知らん顔。それどころか、空き缶のポイ捨て、家庭ごみの投げ捨てが日常的な風景になってしまった。

そんな現状に、心を痛め、清掃や花壇作り、植樹に取り組む人々が増えている。行政まかせから、「道はみんなの財産」という意識と行動。新しい「公」への動きが芽を出しているのだ。行政と住民が手を携え「協働」で道を守るという新しい意識の潮流。そこから生まれた九州各地の活動が、合流し、大きな流れになってゆく。「道守九州会議」の誕生だ。

道守。その由来は遠く万葉の昔にさかのぼる。道を管理し、守り、旅人の飢えと渴きを癒す果樹を沿道に植えたという。現代の道守は住民と行政が協働し「道と人の新しい縁」を紡ぐ。さあ、新しい道に一步踏み出そう。



瀬平公園より「開聞岳」を望む（鹿児島県南九州市姶良町）

CONTENTS

- 01 巻頭インタビュー
行政も道守も県域を越えて連携の時代へ!!
山口祥義（佐賀県知事）
- 02 みちづくし in 佐賀2018
わくわくドキドキ輝く道守 佐賀県で開催
- 04 道守の一人一人が主役
- 06 大ワークショップ 道守よかところ再発見
- 08 サイクリングと観光を組み合わせた「サイクルツーリズム」
～地域の魅力・環境・健康アップ～

- 10 わたしの好きな道
坊津街道(薩摩街道)国道226号
鮫島 昭一
- 11 私たちの道守活動
- 14 平成29年度認定
九州風景街道マイスターの横顔
- 16 海外道事情
海外における道路空間の柔軟な使い方
鈴木 彰一
- 17 道守人物伝・道守たちのトピックス・編集後記

表紙画：久富 正美

1935年福岡県生まれ。「小さい旗」同人。グループ「五架会」会員。

巻頭 インタビュー

YOSHINORI YAMAGUCHI 山口祥義 (佐賀県知事)

——道守九州会議は発足してから15年目となり、今回は佐賀県で2回目のみちづくし大会が開かれます。また、佐賀の道守活動で毎年、佐賀城下ひなまつり清掃やさが桜マラソン応援そうじといった活動を行っていますが、道守活動に対して知事はどのように見ておられますか。

山口知事 佐賀県は県民が特定の都市に集中せず、それぞれの地域に分散しているのが特徴です。その各地域・人々を結ぶ道路の景観を向上させる道守活動は、地域の人々の人間関係を豊かなものとする活動と感じています。

道守の皆様をはじめ、NPOやボランティアなどCSO（市民社会組

織）の皆様が活動しやすい地域であることが佐賀の一番の誇りです。佐賀県では、私が知事に就任してから、県外CSOの誘致を行って、現在まで7つの県外CSOが佐賀県を拠点にしたいと名乗りをあげられ、活動中です。

——道守活動を含めた「住民と行政の協働」が今後の行政のカギとなりますが、これをもっと発展させるための知事の思いを教えてください。

山口知事 行政やボランティアで得意とする分野はそれぞれ異なっていて、特にボランティアは我々行政だけでは手の行き届かないニーズに対し柔軟に対応していただける素晴らしい人材があります。その互いが得意・

不得意とする分野や性質をお互いに理解しながらパートナーシップを結ぶことが出来れば、これ以上に心強いものはありません。

元々、地方自治の分野は、明治時代には学校をはじめほとんど地域住民の手により運営されていました。それが戦後の高度経済成長期以降、行政の仕事がどんどん増えていき、行政と地域住民との間で自治に関与するバランスが変わっていきました。

人口減少社会の今、このバランスを新しい時代にあつたものにしていくことが大事であり、道守活動のように自分たちの町を自分たちで綺麗にしようという思いは尊く大切にしていくなすべきものだと思います。公務員も行政の担い手だけでなく一県民としての意識をもって地域活動に参加するべきですし、県職員にも積極的にボランティアに参加するように勧めているところです。これからは行政とボランティアのとの良いバランスを目指していきます。

——2月に開催された「有明海沿岸道路みんなのつどい」に知事も参加していただきました。この有明海沿岸道路を道守や「道の駅」との連携によって、利用率の向上や活性化につなげられるのではないと思いますが、それに対し知事はどのように考えていらっしゃいますか。

山口知事 有明海沿岸道路は、有明海沿岸地域が有するポテンシャルを大いに発揮させることを可能とする「夢の道路」だと考えています。現在

その道を通る人が安心して、道草のできる環境をつくる大切さを感じたところですし、おもてなしの心で、



の整備率は55%程度ですが、その段階でも九州佐賀国際空港の利用者数が年々増加するなど、ストック効果が非常に大きい事業です。

平成31年春ごろには有明海沿岸道路沿線に「道の駅しろいし」のオープンを控えています。そういったものを如何にして魅力あるものにしていくのか。それにはそこできしか手に入れられないものをたくさん揃えることが出来るか、そして道守の皆さんのような、人の気持ちにどれだけ加わるかが重要となります。そして、有明海沿岸道路が整備される福岡・熊本・長崎といった他県と、県域を越えた連携について道守の方々が主体となって進めていただければ、有明海沿岸の一体的な発展につながるものと期待しています。

佐賀県としても、道守活動に触発されて、九州佐賀国際空港と佐賀市街を結ぶ県道沿いの県有地にて、子どもたちと一緒にポピー畑を作り出したところ、多くの方に来訪いただきました。

昭和40年7月1日生、東京大学法学部卒業後、自治省入省。内閣安全保障危機管理室参事官補、長崎県総務部長、総務省過疎対策室長、東京大学教授などを歴任し、平成27年1月佐賀県知事に就任。



道守佐賀会議の皆さんがインタビュー

プロフィール

昭和40年7月1日生、東京大学法学部卒業後、自治省入省。内閣安全保障危機管理室参事官補、長崎県総務部長、総務省過疎対策室長、東京大学教授などを歴任し、平成27年1月佐賀県知事に就任。

みちづくしin佐賀2018 くわくわくドキドキ輝く道守く

佐賀県で開催

佐賀県で「肥前さが幕末維新博覧会開催中」！

2018年は、1868年の明治維新から150年目にあたる節目の年。当時、薩長土肥の「肥（肥前の国）」である佐賀藩からは、大隈重信をはじめとする数々の偉人が輩出されました。そんな佐賀の偉人たちに光を当て、彼らを生んだ佐賀の風土や歴史的背景を最新の映像テクノロジーを駆使して紹介しているのが「肥前さが幕末維新博覧会」。2019年1月14日まで佐賀市城内のメイン会場を中心に、県内各地で開催しています。

1868 2018 肥前さが 幕末維新博覧会

Hizen Saga Bakumatsu-Meiji Restoration Expo



肥前さが幕末維新博覧会

幕末維新期、佐賀は国内最先端の科学技術を有し、日本近代化のトップランナーとして明治維新のカギを握っていました。佐賀市にある博覧会メインパビリオン「幕末維新記念館」では、幕末維新期の佐賀の活躍を、最新技術を駆使したダイナミックな映像や、パフォーマーの演技と映像によるクロスメディアショーなどをおして、佐賀の偉業や偉人の活躍を紹介しています。他にも、大隈重信や江藤新平など近代日本の礎を築いた偉人たちが集い学んだ藩校「弘道館」を紹介する「リアル弘道館」や、江戸時代の武士の心得を表したのとして広く知られる「葉隠」をテーマとし、デジタル技術で書道や華道を楽しんだり、今の自分に必要な葉隠の言葉を導き出して持ち帰ることができます。



佐賀インターナショナルバルーンフェスタ

ることができたりする「葉隠みらい館」のほか、「鳥栖サテライト館」「唐津サテライト館」など、県内各地で博覧会が開催されています。

また、これから秋の時期と言えば、「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」（10月31日～11月4日）と「唐津くんち」（11月2日～4日）です。

「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」は世界各国から100機を超えるバルーンが参加するアジア最大の国際大会で、競技飛行以外にも、動物など可愛い形をしたバルーンファンタジアや、夜の暗闇の中バンド演奏に合わせてライトアップされる

バルーンも必見です。

ユネスコ無形文化遺産にも登録されている「唐津くんち」の曳山は最大で高さ約7m、重さ約2～3tもあり、赤や緑、金など色鮮やかに輝く獅子や兎などは、さながら時代絵巻のよう。城下町の風情を残す唐津の街中を巡行する14台の絢爛豪華な曳山と、「エンヤ」「ヨイサ」という威勢のよい掛け声、曳子の凛々しい姿は見る人の心を魅了します。

他にも有明海の竹崎カキ・竹崎カニ、呼子のイカや佐賀牛など、佐賀県の美味しい食もぜひ堪能ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



唐津くんち

秀島佐賀市長より

日頃から、九州各地で「道」に草花を育て、清掃し、清潔で美しいまちと心を育てる活動に取り組まれている「道守」の皆さんが、この佐賀市にお集まり頂き、「みちづくしin佐賀2018」として通算15回目の交流会が開催されますことは、誠に喜ばしく、心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、日頃から「道」に愛着を持ち、その「道」の清掃美化や、歴史文化の発掘・継承といった、まちの賑わいのための様々な道守活動にご尽力頂き、感謝申し上げます。

今年は明治維新から150年という節目の年です。

佐賀県では、「肥前さが幕末・維新博覧会」が開催されており、佐賀市も県と連携を取って頑張っております。

2日目の現地体験学習会では、こうした佐賀の魅力を感じて頂けるコースも準備されております。

佐賀では、歓迎してもてなすことを「ほとめく」と申します。私どもも「ほとめき」の心を持って、関係者の皆様をお迎えしたいと思っております。

今回の交流会及び交流集会が、皆様にとって、実り多きものとなることを祈念いたしまして、挨拶に代えさせていただきます。

佐賀市長 秀島 敏行



佐賀県のみどころ

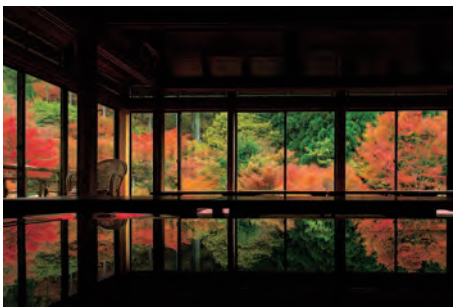
■環境芸術の森(唐津市厳木町)

自然豊かな厳木町作礼山の中腹に位置し、昔ながらの美しい自然を取り戻そうと、地元有志が30年近い歳月をかけて築き上げてきた広大な紅葉の森です。約1万本のモミジやカエデ、イチヨウなどが豊かに色づきます。

■有明海干潟の紅葉 シチメンソウ(佐賀市)

佐賀市東与賀町の有明海に面した干潟の海岸に群生する塩生植物のシチメンソウが観察できます。晩秋の風物詩としても有名で、11月上旬には「干潟よか公園」を中心に「シチメンソウまつり」が開かれます。

10月30日～11月4日の18時～20時にはライトアップされ、幻想的な景色を見ることができます。



環境芸術の森(唐津市厳木町)



シチメンソウ(佐賀市東与賀町)



御船山楽園(武雄市)



竹崎カニ



竹崎カキ

ことができます。竹崎カニは年中味わうことができますが、夏場は身が締まりしつとりとした舌ざわりのオス、冬場は内子(卵)を持った濃厚な味わいのメスと、1年を通して色々な味を楽しむことができます。基本の塩茹でのほか、みそ汁や炊き込みごはんなど、各店自慢の個性的なカニ料理が味わえます。

他にも佐賀県の楽しい見どころがたくさん！
詳しくは佐賀県観光連盟のホームページ

あそぼーさが

検索



道守の一人一人が主役

平成15年から九州各県で道守九州会議交流会（「みちづくし」）が開催され、今年で15回目を迎えます。

佐賀県は、2011年「未来をひらくつながりの道」に続き2回目の開催で、2018年は「わくわくドキドキ輝く道守」として開催します。

■テーマ

「わくわくドキドキ輝く道守」

私たち『道守』は、道を通したつながりが好きで、みんなで道をきれいにすることが楽しくて、それぞれの地域で活動をしてきました。花植えや清掃、歴史、観光、学習など活動は様々です。

「道がきれいになってうれしい」「きれいな道を心地よく使ってほしい」「道を通じて地域の素敵なものを共感したい」そんな一人一人の思いにスポットをあて、活動をたたえ、道守の一人一人が輝いて頂きたいと、佐賀会議ではこのような思いを込めて今年のテーマとしました。

■大ワークショップ

『道守よかとこ再発見』

交流会では、「道守よかとこ再発見」と題して、道守の皆さんの活動自慢を始め、ふだん道守活動をするなかで、味わった醍醐味やお勧めスポットなどの知り得た情報を自慢しあっていたできます。

また、他県の発表やご自慢を聞いて自分たちの活動のよさなどを改めて再認識できる、まさに「再発見」でもあります。大ワークショップの進め方は、まず、ご自慢の活動やお勧めスポットをちりばめたマップ（よかとこマップ）を県単位で事前に作成し、九州を西・東・南の3ブロックに分け、ご当地自慢を繰り広げていただきます。

会の進行は、佐賀大学理工学部の猪八重拓准教授がされ、各県ごとに選出されたファシリテーターに、道守さんからよかとこ（ご自慢）を引き出して頂きます。



より加入し、同時に副代表世話人として活動している。

猪八重拓准教授

佐賀大学理工学部
都市工学科 准教授
道守佐賀会議
には平成30年4月

また、これまでなかなかスポットライトが当たらなかった「道守さん」や、「道守活動」にも光を当てたいと思います。当日はたくさんの道守さんに発言をお願いする予定です。

ブロック毎のワークショップのあとは、九州全体で意見交換のとりまとめを行います。

自慢できる題材をたくさん探して、発表を楽しんでください。

■『道守よかとこマップ』

みなさんに準備していただいた数々の「よかとこパーツ」（ご自慢活動や観光スポットなど）は、各県のマップ（布製の巻物）に貼り付け印刷をし、巨大な「よかとこマップ」を作成しています。

大ワークショップでは、「道守よかとこマップ」を眺めながらご自慢をして頂きます。



■記念撮影、世界に発信！
交流会の最後には、その巨大な「道守よかとこマップ」とともにみちづくしに、ご参加頂いた道守の皆さんと記念撮影をして、その写真やマップを、FacebookやTwitterなどのSNSを活用して、道守の皆さん、そして日本、世界に向けて発信し、共有します。

また、今後ワークショップでのご自慢の活動やスポットを冊子にし、各地を訪れる際のガイドブックとして、改めて編集します。九州各地にたくさんの仲間がいることを認識する1冊として、皆さんと共有したいと考えています。

皆さんの活動、そして地域の魅力を再発見していただき、今後の活動がさらに発展するような、「みちづくし」になることを祈念します。



笑顔で道守の皆様をお出迎え

道守佐賀会議では、「みちづくし in 佐賀2018」を実施するにあたり、各県の道守の皆様を笑顔でお出迎えできるように、また佐賀を楽しんで頂けるよう、実行委員会と交流会・交流集会、現地体験学習会の準備を進めてきました。休憩時間には、佐賀の美味しいお菓子とお茶で「ホッ」として頂けるようにおもてなします。

道守の皆様、お待ちしております。

みちづくし in 佐賀2018
実行委員会

■現地体験学習会

二日目（6日）は、佐賀の魅力満載の現地体験学習会を3コース準備しました。

- ①肥前さが幕末維新博覧会で150年の歴史が堪能できるAコース。
 - ②鹿島のイイとこ巡りで安全祈願やおいしいお酒、地元の物産に出会うBコース。
 - ③世界文化遺産の唐津くんち曳山の展示をはじめ唐津城下を楽しむCコース。
- どうぞ心からお楽しみください。
また、参加できなかったコースには、後日、ご家族連れでお出かけ下さい。

Aコース 肥前さが歴史体験コース



佐賀バルーンミュージアム



大隈重信記念館

今年は明治維新150年を記念して「肥前さが幕末維新博覧会」が開催されており、その会場や大隈重信記念館を見学します。

また、佐賀といえば世界大会が開催される熱気球大会があります。その熱気球をテーマにした佐賀バルーンミュージアムもぜひお楽しみ下さい。

Bコース 鹿島のイイとこツーリズム



肥前浜宿酒蔵通り



祐徳稲荷神社

佐賀市からバスで約1時間、鹿島市を訪ねるコースです。

日本三大稲荷の一つ祐徳稲荷神社で道守活動の安全祈願を行い、旧長崎街道の宿場で白壁土蔵造りの酒蔵が建ち並ぶ肥前浜宿酒蔵通りを散策し、ゴールは、平成27年に重点道の駅に選定された「道の駅 鹿島」です。お買い物や地元の物産をお楽しみ下さい。

Cコース 城下町を五感で感じる in 唐津



唐津城



旧唐津銀行

佐賀県の北西に位置し、玄界灘に面した唐津市を訪ねます。

ユネスコに登録され、唐津くんちを彩る曳山を展示した「曳山展示場」や近代日本を代表する建築家辰野金吾が設計・監修した「旧唐津銀行」、肥前の炭坑王高取伊好の「旧高取邸」などを見学し、周辺を散策後、唐津城へご案内します。

大ワークシヨップ

道守よかところ再発見

「みちつくしin佐賀2018」

今回の交流会では、九州各県が3つのグループに分かれて、各地域の「よかところ再発見」をしていただきます。このページでは、ファシリテーターの紹介と各県のよかところを発信していただいた道守さんを紹介します。

なお、道守の皆さんが披露されるご自身の詳細は交流会当日道守さんから直にお聞きください。



西九州グループ

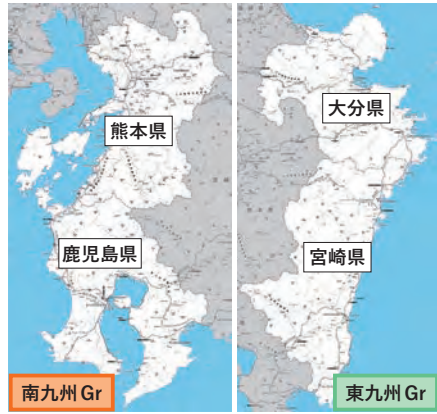
福岡県

道守ふくおか会議 代表世話人（九州工業大学大学院教授） 吉武 哲信氏



九州工業大学大学院にて、地域・都市計画、コミュニティ計画、交通計画等をテーマとした研究を行っています。

平成28年に、道守ふくおか会議代表世話人に就任しました。また、風景街道にも関わりが深く、平成24年よりNPO法人日本風景街道コミュニティ理事、平成25年より国土交通省九州地方整備局九州風景街道推進会議委員を歴任しています。



※各県の道守さんの活動や見所などの写真を貼付してマップとして完成させます。

東九州グループ

大分県

道守大分会議 代表世話人（一社）湯布院温泉観光協会 桑野 和泉氏



平成16年の道守大分会議設立以来15年間にわたり代表世話人として携わり、旅館業のかたわら、観光・温泉を活かしたまちづくりの先駆者。

「道守×日本風景街道×道の駅」が連携する「3つの輪」に取り組み中で、観光の玄関口である「道の駅ゆふいん」を起点にした。道守おもてなし花壇づくりを新たに展開しています。

生石港町港友会(道守花壇西大分駅地区)
宇佐市岩崎区花壇
大分河川国道事務所
大分芸術短期大学
大分土木事務所
蒲江道づくりを考える女性の会
顕徳町老人会 デウスクラブ
菅生小学校
株創計
株高山組
株友岡組
「中九州横断道路」の早期完成を願う女性の会
日本風景街道 別府湾岸・海への道推進協議会
野津町商工会女性部
古国府自治会(道守花壇 古国府地区)
別府市上人ヶ浜自治会
道の駅みえ
道守大分会議
三花公民館清水町自治会しみずVO倶楽部
六坊町自治会

宮崎県

道守みやざき会議代表世話人（宮崎大学地域資源創成学部教授） 根岸 裕孝氏



もともとは栃木県出身です。2001年に宮崎大学着任し、大学では、産業立地政策や地域経営を専門としています。

いますが、市民活動やまちづくりに関心をもっています。学生とともに地域の現場から考えることをモットーとして県内各地と関わってきました。趣味は、座禅と滝行です。焼酎と地元の食を愛する宮崎大好き人です。

旭建設(株)
株内山建設
NPOオーブンガーデンサンフラワー宮崎
門川町草刈り迷人
串間の道を考える女性の会
株工藤興業
株くらこん九州工場
株コバルト技研 宮崎営業所
株坂下組
株西部技建コンサルタント
太陽技術コンサルタント(株)
株都農まちおこし屋(道の駅つの)
日新興業(株)
のべおか道の駅(株) 道の駅北川はゆま
NPOハートピアなんじう
ひかり児童クラブ
株日向サンパーク温泉 道の駅「日向」物産館
株ホテルマリックス
株松澤組
道の駅 酒谷
道の駅高千穂
みやざきフラワーロード・ネットワーク
宮崎駅前商店街振興組合
宮崎空港ビル(株)

佐賀県

道守佐賀会議(道の駅「鹿島」駅長) 藤 雅仁氏



昭和30年鹿島市生まれ。衆議院議員秘書、会社経営などを経て平成24年、道の駅鹿島の駅長に就任。この間、むらおこしグループ「フォーラム鹿島」結成に参画し、ガタリンピックを全国的に有名なものにするなど、鹿島市の活性化に尽力。その功で毎日新聞郷土提言賞を受賞。現職においても「九州・沖縄連絡会駅長会」会長として業界の発展に寄与しています。

NPO活気会
唐津土建工業(株)
基山会
佐賀県建設業協会
佐賀県
佐賀国道事務所
多久市そうじの会
株中野建設
葉隠会 道守部会
松尾建設(株)
株丸福建設
道を研究する会 ロードネット佐賀
道守佐賀会議
呼子大橋 橋守の会(エスイーリアペア(株))
路葉住くらぶ

熊本県

道守くまもと会議 (NPO法人 ネット八代) 岡田 敏代氏



「道守くまもと会議」 「風景街道阿蘇くまもと路」の立ち上げ期から携わり、現在はNPO法人ネット八代の代表として活躍しながら、精力的に地域づくりに取り組んでいます。

(公財)阿蘇グリーンストック
大津町商工会女性部
街道並木樹を守り育てるボランティアの会
風の会
NPO自然を愛する会
NPOネット八代
風景街道「阿蘇くまもと路」
松橋ボトスの会
道の駅「阿蘇」
道守くまもと会議

長崎県

道守長崎会議 代表世話人（NPO法人 道守長崎理事） 牧 圭子氏



「道守長崎会議 代表世話人」及び「NPO法人道守長崎理事」を努め、長崎市内の美化・清掃活動はもちろんのこと、長崎県内を飛び回り道守さんの活動に積極的に参加。

また、長崎風景街道ながさきサンセットロード協議会のメンバーでもあり、道守と風景街道を連携した長崎県の地域活性化や魅力向上に尽力しています。

有明ボカシの会
大村マイツリー会
小浜温泉57
環境美化を考える会
クローバーロード清掃隊
道守諫早ネットワーク
NPO法人 道守長崎
道守長崎会議
ロードスターズ



鹿児島県

道守かごしま会議 代表世話人（薩摩川内市商工会女性部部長） 田島 直美氏



道守かごしま会議代表世話人。「薩摩川内市商工会女性部長」と「NPO法人きらり理事長」を務め、地域の活性化のため、精力的に活動を行っています。また、「薩摩よりみち風景街道協議会副会長」として、風景街道の登録と観光資源の創出に尽力しています。

鹿児島市札元商工親睦会
株きたやま
郷之原夢楽づくり協議会
コアツ工業(株)
株コバルト技建 鹿児島支店
株サタコンサルタンツ
薩摩川内市商工会女性部
佐藤建設(株)
NPO三方良
(公社)川薩法人会 女性部会
大黒グループ
田島アクション倶楽部
たるみず折鶴
鶴の町商工会女性部
長島町商工会
荷馬車組合
株萩原技研
株パブリック
南九州市商工会(知覧地区女性部)



宮崎

『風景を磨き活かす』サイクルツーリズムで地域を繋ぐ』

日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会 事務局 工藤 登紀子

日南海岸きらめきラインとは

日南海岸きらめきラインは国道220号、国道222号、国道448号、主要地方道28号を幹線道路として結ばれており、宮崎市、日南市、串間市の3市を活動エリアとしています。きらめきラインは、民間の47団体で組織された推進協議会と、行政連絡会で構成されており、参加団体は、それぞれ



日南海岸きらめきライン(日南市宮浦)

の地域で道路や海岸の清掃、草花や花木の植栽などの道守活動を行ってきた。役割は、こうした活動を繋げていき、時には新しい価値を作り出し紹介すること。活動を行う上での課題を解決していくためのチームだと考えています。そのために、学びの場として毎年1月に『日本風景街道大学』を開校しています。

想いがつながる『自転車ライフ談義所』

平成27年夏、日南市南郷町の南郷まちづくりGOGO会が、もつと沢山の人に足を運んでもらいたい！そのために、スポーツバイクに乗っている人が訪れたくなるようなまちにしよう！と、サイクルスタンドの設置を始めました。時を同じくして、きらめきラインも、風景、歴史、文化、食を繋ぐサイクルツーリズムへの取り組みを本格的に進めていくと動き出していました。こうした状況の中、日南市役所の音頭により『自転車ライフ談義所』がスタートし、自転車に乗る側、受け入れる側、

行政も含め、いろいろな視点から情報を交換し合いました。いつしか熱い議論は市域を超えて、串間、志布志からの参加者も増え、それぞれの想いや構想が繋がりが広がって行きます。

これまでこの談義所で、サイクリング休憩所「サイクルレストよってね！」の愛称やマーク、しくみづくりを行いました。また、日南市南郷町から串間市を結ぶ国道沿線は、恋や愛にまつわる地名や言わねが多いことを活かして「日南海岸恋人ロード」が誕生しました。他にも、サイクリングイベントを企画し、お互いに支援しあいながら実施する体制もできてきました。『自転車ラ



南郷町の「サイクルレストよってね！」

ライフ談義所』も3年目に入り、毎月1回、顔を突き合わせて、次のアイデアを実現するための熱い議論が続いています。

地域がきらめくサイクリングツアー

サイクリングのメリットは、ゆっくり自分のペースで、太陽や風を感じ、地域の小さな拠点を渡り走れることです。歩くよりもっと行動範囲は広がります。車では感じることでできない、地域の人が知る魅力的な資源に光があたり、地域がきらめく機会をつくり出すことができると思っています。



道の駅酒谷を拠点にしたサイクリングツアー



日南海岸のサイクリング



道の駅酒谷を拠点にしたサイクリングツアー



地域の人が出ずエイド

サイクリングと観光を組み合わせた

『サイクルツーリズム』

地域の魅力・環境・健康アップ

大分

サイクリングを活用した取組を開始

大分では、様々な地域資源を有効に活用して、暮らす人々や訪れる人々にとって魅力的な大分を創出するため、「日本風景街道」「道の駅」「道守大分合議」の3者の特性を活かしながら緩やかな連携により、更なる地域貢献を目指す「三つの輪」を立ち上げ地域課題の解決に果敢に取り組みながら、ふるさと大分の発展に貢献する取組を始めます。

また、平成28年12月16日に公布された自転車活用推進法により「別府湾岸・国東半島海への道」のパートナーシップであるNPO法人大分ウォーターフロント研究会が別府湾岸エリアを対象にした国東市提案の「サイクル連携による別府湾岸・国東半島の地域づくり」を基に、大分市・別府市・日出町・杵築市・国東市・豊後高田市の5市1町とともにサイクルの連携のあり方についての検討にも取り組んでいます。

その計画では、自転車は地球の環境

保全、地域住民の健康増進、モラルアップはもとより、観光客の誘致とりわけインバウンドによる国際的な広がり期待されることから、四国地方及び中国地方向けのフェリーを利用した周南市・尾道・しまなみ海道・愛媛・大分ルートと言った日本を代表するサイクルルートの実現を目指しています。

その活動の場として、地域活性化、観光振興に寄与する日本風景街道に登録されており、更に3つの「道の駅」がルート上にあり、また、サイクルハブ(31箇所設置)も充実し、大分空港、フェリー及びJR日豊本線等の結節点があり移動による利便性が高い、風景街道「別府湾岸・国東半島海への道」を活用した取組を実施します。

現況の課題としては、①県境の国道やフェリーでの入県を前提としたルートや、主たる宿泊地を起点としたルートの設定がされていない②ロードバイクなど自転車とともに飲食・宿泊がで



きる施設の情報が少ない③路肩の幅が狭く雑草等で自転車通行が困難な場所があることなどが出ています。

この様な課題に対応するために、3者連携への取組が重要となっています。今回、その取組の第一歩として、杵築市がJR杵築駅を起点にしたレンタサイクルによるモニターガイドツアー

を国交省所管の社会実験で実施し、アンケート調査を元にルート選択を行い、経済効果の分析、自転車利用環境の向上を図り、道路を集中的に改良することを目指した取組に着手する予定です。他の市町も自転車を使った取組への機運が高まっているとみられます。

(大分河川国道事務所)



坊津街道での道守活動



双剣石



西海金剛峯寺一乗院龍巖寺跡



双剣石

わたしの好きな道

～坊津街道（薩摩街道）国道226号～

私たちが住む町、鹿児島県坊津は本土最西南端にあり遠隔地でもあります。しかしながら古来より海外交易の中心として遣唐使や鎖国後の島津家の異国番所や密貿易の基地として、遠くは琉球、ルソン、安南、シヤムまで波濤を越えて交易し、色々な文化を先駆けて受け入れてきました。鑑真が渡来、町のあちこちに唐人墓地や唐人慰霊塔また、苗字に特色があり一文字の森、関、林、紀、重など。彼ら唐人たちが坊津に帰化して唐通詞や漢方医になったのです。また、宣教師のシドッチ、ジョルジョ、アルバレッチなどの遺跡もそれらを物語っています。坊津で歌われている俗謡「坊津千軒、鷺の町も、出船千艘の帆にかくれる」とあります。地勢的には県内唯一の約55kmからなるリアス式海岸は変化に富み最西南端に坊ノ岬灯台からは開聞岳が洋上に浮かび、南には薩南三島、その後には屋久島、北西には甕島、極めつけは安藤広重も描いた国の名勝の双剣石。それらを眺める「とるばとる」もあります。坊津街道と言っても、多くの人は知らないと思います。今のR226からR3に至って福岡久留米の山家の長崎、豊後街道の分岐までです。この地の筑後市などには今も旧道のあちこちに「坊津街道（薩摩街道）」の標柱が立っています。筑後市観光協会は「歴史の坊津街道を歩こう」のトレーニングも開催しています。なぜ、坊津街道だったのか？それは、坊津が当時の海外からの入口で高価な唐物が入り大宰府を通じて都へ運ばれました。天皇家の勅願寺（西海金剛峯寺一乗院龍巖寺）を建立し、島津家が篤く庇護。室町末期には室町幕府三管領家の畠山頼国、左大臣近衛信輔公、秀吉の親戚の木下大膳太夫などが、この寺に配流されています。また、江戸の初期には水戸黄門で有名な助さん、佐々助三郎、丸山雲平が日本史編纂の為に来訪、幕末には伊能忠敬、島津斉彬公も鹿児島に藩主として御国入りし、巡視した。現代になるとこの道を海音寺潮五郎、司馬遼太郎、水上勉、梅崎春生、獅子文六、団一雄、歌人の八田知紀、水原秋桜子などが訪れ、小説や歌の舞台となり、坊津街道は景観や歴史を感じられる街道であります。



プロフィール

鯨島 昭一 (さめしま・しょういち)

鹿児島県南さつま市坊津町坊在住
NPO坊津やまびこ会 理事長
南さつま市商工会 副会長
道守かごしま会議 世話人

私たちの道守活動

道に出て、道を見つめ、道の問題と向き合う。それは私たち自身の未来を考えること。歩いて楽しく、暮らして楽しい地域づくりのために、九州各地の道守会員が取り組むスタイルやアイデアなどもさまざまな活動を紹介しています。

活動と言えます。

「さが桜マラソン応援そっじ」

フルマラソンとしては、平成25年から開催されている「さが桜マラソン」。毎年約1万人ものランナーが早春の佐賀路を駆け抜ける市民マラソンです。「NPO法人グリーンパード佐賀チーム」が大会前日に清掃を行っていることを知り、「道守佐賀会議」も平成28年度から一緒に取り組んでいます。「ランナーだけでなく、沿道で声援を送る方にも気持ちよく」

「さがの有明海沿岸道路沿線みんなのつどい」

国と県で整備を進めている「有明海沿岸道路」。平成29年3月に「さがの有明海沿岸道路沿線みんなのつどい」と称して、道守の視点、女性の視点など、様々な切り口で「有沿（ありえん）」について、意見交換などを行っています。有沿を通して「道守」の輪を広げる取り組みとなっていて、これまで2回開催しました。沿線となる、お隣大川市からも道守さんに参加いただき、広域的な交流となりました。

建設業務を通じて公共の福祉に貢献する

弊社では、約20年前から県下一斉ふるさと美化活動に合せて佐賀市水ヶ江にある本社、嘉瀬の西部事務所、鹿島支店、福岡支店、唐津支店と日頃お世話になっている各地域で近隣の方々へ感謝の気持ちを周囲の道路の清掃活動というかたちでさせていただいています。

年々、会社周辺の道路もきれいになりますます地域が輝いて見えるようになりました。弊社は平成7年2月に初代中野藤太郎が佐賀市内で個人建設業を創業し、100周年を迎えました。地元佐賀県のみならず災害が発生した地域への支援物資のお届けや有明海の流木や浮遊物の撤去作業などを行ってきました。

これからも「感謝を柱に、未来へ」地域へ少しでも恩返しができるよう積極的に地域貢献活動を行ってまいります。



佐賀 道守佐賀会議

「道守佐賀会議」は、平成16年7月に発足して、現在会員数約2,200名（団体・39 個人・10）となっています。地道な活動が奏功し、会員数が徐々に増えています。「できることをできる範囲で！」をモットーに掲げ、各団体がそれぞれの地域で清掃等のボランティア活動をおこなっており、その活動内容は多岐に亘っています。

「道守佐賀会議」の中心的な取り組みとしては、「佐賀城下ひなまつり清掃」「さが桜マラソン応援そっじ」などがあります。

「佐賀城下ひなまつり清掃」

毎年2月中旬～3月末に開催される「佐賀城下ひなまつり」の開催に併せて、佐賀に来場される方への「おもてなし」として、平成17年から取り組みんでいます。「佐賀会議」としての象徴的な活動となっており、今では、毎回200名を超える方が参加され、冬の佐賀にすっかり定着した



佐賀城下ひなまつり清掃



さがの有明海沿岸道路沿線みんなのつどい(H30.2)

「活動資金の不足」、「後継者の育成」といった他県の道守さんたちが抱える問題に佐賀会議も悩まされていますが、次の世代にも「よか」とこ発見」をしてもらうために、地道な活動を通じて「道守」の輪をひろげていきたいと思っています。

佐賀



福岡



名島校区花の架け橋実行委員会(福岡市)

名島橋念願の、有形文化財登録！

福岡市東区名島にある名島橋(国道3号)および周辺の清掃を、平成6年から24年間継続して、毎月第1日曜日の朝7時から行っています。8月には、自治協議会・公民館と合同で清掃や除草作業を行い、多くの地元の方に参加していただいています。また、12月には名島橋の親柱4本をサンタクロースに見えるよう飾り付けをし、道行く人に楽しんでもらっています。

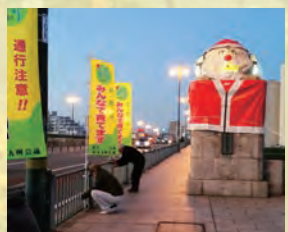
このたび、我々の念願であった名島橋の国登録有形文化財(建造物)への登録が平成30年5月10日に行われ、8月には記念式典も開催されました。文化財の指定を受けるため、名島橋がいかに地域の人々から愛されているかを知ってもらえるよう、今まで活動を続けてきました。これからも、名島橋を大切に守って行きたいと思っています。

毎月行っている清掃は、どなたでも参加できます。お近くにお住まいの方は、ぜひ一度お越し下さい。

(代表 佐伯毅)



8月の合同清掃



名島橋のサンタクロース



名島橋清掃

長崎



有明ボカシの会(島原市)

循環型の環境維持活動

有明ボカシの会は、荒木会長の呼びかけにより個々に活動していた方々を集め、平成20年に立ち上げた団体です。島原市を拠点とし、現在の会員数は正会員52名と賛同会員約200名。毎年約100日間活動しており、延べ参加者は年間約2千人を越え、活発に活動しています。

活動内容は環境美化・保全活動全般ですが、特に国道251号沿いの清掃や、ゴミの減量、生ゴミなどを燃えるゴミに出さないようにする等の活動を行っています。私たちの会の特徴は、その除草した草や生ゴミなどを発酵させ肥料を作り、農薬や化学肥料を使用しない野菜作りを行っているところです。

ゴミを活かして野菜作りを行うという循環型の環境維持活動を通じて、地域の子供達から高齢者の方が、同じ目標であるゴミ減量を目指すことにより、食育や環境問題の解決につながると思います。また、毎年その野菜を使った試食会などを開催するなど、楽しみながら活動することにより、より良いコミュニティが期待されています。

(上村誠)



清掃活動後の集合写真



収穫した野菜の試食会



草や生ゴミの堆肥化

熊本



大津町商工会女性部(菊池郡大津町)

花いっぱい町のづくり

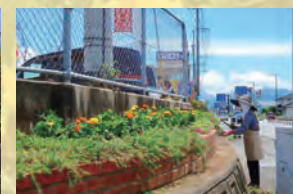
大津町は、熊本市と阿蘇の中間地点で、参勤交代の町としても有名です。近くに阿蘇くまもと空港、熊本インターと交通アクセスも抜群、「現代版宿場町」として発展をしています。

私たちは、平成16年12月22日に熊本河川国道事務所と「ボランティア・サポート・プログラム」の協定を締結。国道57号大津交差点付近の約60m(片側のみ)の歩道に設置された花壇の花の管理、除草及び周辺の清掃を月1回程度、行っています。私たちが作業中に通学する中高生たちが「こんにちは」とさわやかな挨拶をしてくれることがたいへんうれしいです。

地域振興活動では、大津地蔵祭、つつじ祭に参加し、再生資源活動及び花いっぱいの町づくりに取り組んでいます。

わたしたち商工会女性部は、女性の特性をいかし、地域振興発展のよき協力者であるとともに、推進者となるべく頑張っています。

(代表 山本セツ)



大分



大分県立芸術文化短期大学(大分市)

おもてなし街道プロジェクト
大分の街に賑わいを

大分県では、「おもてなし街道プロジェクト」として大分市の庄の原野線、大分県立芸術文化短期大学下に花壇を作りました。花壇は、かんたん港にある「ガーデンサロンの風の散歩道」大本さん設計によるもので、花植えやお花の種類の説明、また水やりなどお手入れの指導まで優しくご指導頂きました。活動には、地域にお住まいの方や子供達、大分県立芸術文化短期大学の学生、老人会や役員の方々を含め約50名の方々に参加して頂きました。普段何気なく通る道が、綺麗に華やかになることでこの場所を通る市民の皆様が笑顔になって頂けることを願っております。植えたばかりでお手入れが1番大変ですが、地域の皆様と一緒に力を合わせて育てて行きたいと思っています。花植えを機会に、さらなる大分の賑わいを創出することが出来た。もっと、地域の方々との交流の場を増やしていきたい華やかな街を創っていきけるよう今後も、様々な活動を行っていきますので、沢山の参加お待ちしております。

(大分県立芸術文化短期大学 情報コミュニケーション学科 西ひより)



宮崎



宮崎フラワーロードネットワーク(宮崎市)

県内最大の道守活動で
花いっぱい镇中心市街地に！

宮崎の春と秋の観光シーズンを花いっぱいでお迎えるため、メインストリートの橋通りの植栽活動を15年続けております。

市民・事業者・行政の協働による「太陽と緑のガーデンシティみやざき」の象徴として毎回二三百人の参加があります。この活動は、一つの商店街から始まり、年々輪が広がっていき、今では花いっぱいの中心市街地となっています。

当初市の花苗供給を受けた植栽活動も平成一七年度からはフラワーサポートシステムとして広告花壇約六十基を設置し、花苗の原資として一部を自立運営で行っています。

花壇の維持管理の最大の課題は、水やりです。さらに盗難の被害も後を絶たず、その都度補植して粘り強く管理を続けています。

昨年から一つの商店街の自主的な活動として一部花の増殖や水管理を行うなどの新たな動きが加わっております。自分の手で植え、水をやって育て、成長する花の姿に心を動かされない人はいません。この花植栽活動がみやざき道守活動の原点としてさらに発展していくことを願っています。

(代表 新名典忠)



鹿児島



(株)建設技術コンサルタンツ(鹿児島市)

沿道住民と共に
道守活動ができるように！

弊社は、社会貢献活動の一環として、平成20年6月に鹿児島国道事務所と直轄管理の国道の道路環境整備を推進するボランティア・サポート・プログラムの協定を締結し、翌月より活動を開始しました。既に10年が経過しました。主な活動内容は、歩道の清掃・美化活動を中心に、鹿児島市伊敷町の国道3号の延長約790m区間に、2ヶ月に1回の割合で、就業開始前の約1時間、30名程度で地元住民のみならずへの朝の挨拶と交通安全に留意し、歩行者の妨げにならない清掃を心掛け実施しております。また、道路施設の損傷等を発見した場合には管理者へ通報し、歩行者の安全を確保するように努めております。

今後も、「道」に関心・親しみを持っていただけるよう定期的な道守活動を継続し、いずれば沿線の地元住民と共に道守活動ができることを期待しております。

(企画営業部 堀田祥太郎)



九州風景街道 マイスターの 横顔

九州風景街道マイスターとは…

日本風景街道九州ルートでは、地域の魅力の発掘、維持、発展を目指してさまざまな取り組みを実施しているところです。

しかし、参加者の高齢化に伴う減少や担い手不足、収益性等の関係で、長年培われた取り組みが伝承されず、消失していく事例が見られています。

そこで、日本風景街道の取り組みの活性化を図るため、九州風景街道では長年の経験と卓越した活動技能を有し、活動技術伝承の指導者となる方を「九州風景街道マイスター」に認定し、他ルートへの活動の普及、活動の活性化のための助言・指導等を担っていただいています。

平成25年度にマイスター認定制度を設けて以降、九州でこれまでに21名の「九州風景街道マイスター」が認定されており、昨年度は4名の方が「九州風景街道マイスター」に認定されました。



家永 重信 氏
みどりの里・耳納風景街道

国道210号バイパスの沿道等のコスモス・菜の花の植栽活動を、中心的人物として地域住民を巻き込みながら実施するなど、地域団体の意識向上の活動に大きく貢献されています。また活動では福祉イベントとコスモス祭りを融合し、保育園や地域コミュニティとともに共同開催を実施するなど、活動の経験を活かし地域団体の指導・育成に取り組んでおられます。



森田 郁生 氏
豊の国 歴史ロマン街道

京築地区の郷土史の造詣が深く、風景街道発足以前より、旧中津街道沿線の歴史探索ウォークのガイド役や歴史講演会の講師をつとめ、地域住民等と交流を深めるなど、風景街道を活用した「地域おこし」の推進に、リーダーシップを発揮。また、市町の要請を受け、市民参加型指導者養成のため、各地で出前講座を行うなど指導・教育を行っておられます。



坂本 道徳 氏
ながさきサンセットロード

軍艦島（端島）の写真展やガイドによるクルージング等を企画し、端島の認知度向上に努めるなど、ながさきサンセットロードの周知イベント等の企画立案や協議会の運営に優れた技能を有されます。また、ながさきサンセットロード推進協議会の会長としてながさきサンセットロード振興会を設立しルート活動をけん引し、ルートの魅力向上のために軍艦島のクルーズガイドやガイドの養成に取り組んでおられます。



長濱 保廣 氏
日南海岸きらめきライン

ブーゲンビリア等を植樹して南国ムード溢れる演出を随所に施し、「日南海岸きらめきライン」の玄関口（宮崎港・宮崎空港・JR宮崎駅）、青島地区、宮崎中心市街地の「花とみどり」のおもてなし活動を推進するなど、優れた指導をされます。また、南国宮崎を代表するイメージとしてのブーゲンビリアを定着させ、「日南海岸きらめきライン」のリーダーとして、民間（市民・企業）、大学、行政の協働を主導する役割を担い活動に取り組んでおられます。

【認定基準】

九州風景街道マイスターは、5年以上にわたり日本風景街道に携わり、以下の要件を満たす方で、各ルート代表者、又は九州風景街道マイスター等選定委員会委員から推薦された方を対象に選定委員会で審査した上で、九州風景街道推進会議での承認をもって認定しています。

【要件1】

「地域資源、歴史・文化、伝統等の案内・伝承技能」「体験交流・おもてなしイベント等の企画立案・伝承技能」「景観形成・保護の伝承技能」など、風景街道の活動技能に卓越し、その技術の伝承と開発に意欲的であること。

【要件2】

取組の実務関係者の指導・育成や取組を支援する役割を担っていること。

九州風景街道マイスター認定者

認定年度	氏名	活動ルート	要件1 (卓越した活動技能)	要件2 (実務関係者への指導・育成等)
H25	和田 皓	日南海岸きらめきライン	「シャンシャン馬道中唄」等の語り手	全国大会審査員長としての参加者の指導
H25	橋本 正恵	日豊海岸シーニック・バイウェイ	蒲江の地域づくりプランナー	東九州道伊勢えび海道事業を通じた後継者の指導
H25	籠手田 恵夫	ながさきサンセットロード	平戸の地域ガイド	平戸検定を通じた観光ボランティアの指導
H25	樗木 武	玄海灘風景街道	都市型シーニック・バイウェイ考案者	研究会等を通じた若い世代の指導
H25	桑野 和泉	九州横断の道 やまなみハイウェイ	湯布院の地域づくりプランナー	まちづくりプランニング技術の指導
H25	堀 幸子	九州横断の道 やまなみハイウェイ	人づくり、まちづくりプランナー	研究会等を通じた女性たちの指導
H26	伊豆 幸次	ちょっとよりみち唐津街道むなかた	赤間の地域ガイド	勉強会等を通じた観光ボランティアの指導
H26	阿南 誠志	九州横断の道 阿蘇くまもと路	トレッキング技術や自然体験活動	野外活動等を通じた小中学生の指導
H26	山内 公二	豊の国歴史ロマン街道	豊前の地域ガイド	講座等を通じた受講生の指導
H27	長友 治	日南海岸きらめきライン	鶴戸の地域ガイド	歩こう会等を通じた参加者の指導
H27	井上 智明	北九州おもてなしの”ゆっくりかいどう”	訪れた方へのおもてなし活動	まちづくり団体等実務関係者の指導
H27	高橋 裕二郎	九州横断の道 やまなみハイウェイ	野焼きによる草原景観の保全活動	学習会等を通じたボランティアの指導
H27	加藤 千明	別府湾岸・国東半島海への道	地域づくりプランナー	シンポジウム開催等を通じた関係者の指導
H28	酒井 忠彬	玄海灘風景街道	景観形成、保護	他団体との交流等を通じた関係者の指導
H28	平野 芳弘	九州横断の道 やまなみハイウェイ	まちあるきガイド	地域協議会会長としての関係者の指導
H28	黒木 嘉次郎	九州横断の道 阿蘇くまもと路	景観美化、郷土史跡保護	他団体との交流等を通じた関係者の指導
H28	今村 武憲	みどりの里・耳納風景街道	ガイドブック作成、イベント開催	企画立案を通じた地域団体の指導
H29	長濱 保廣	日南海岸きらめきライン	花とみどりのおもてなし活動	民間、大学、行政の協働を通じた関係者の指導
H29	坂本 道徳	ながさきサンセットロード	軍艦島の地域ガイド	振興会を通じたガイドの指導
H29	森田 郁生	豊の国歴史ロマン街道	京築地区の歴史ガイド	出前講座を通じた関係者の指導
H29	家永 重信	みどりの里・耳納風景街道	コスモス・菜の花の植栽活動	イベントや祭りを通じた地域団体の指導



海外における道路空間の柔軟な使い方

2018年7月、宮崎市中心部においてモノとインターネットをつなぐIoT

技術を用いたシェアサイクルサービスが開始され、国道220号の歩道上にもサイクルポートが設けられました。宮崎に限らず、近年、大都市圏や観光地におい



ボルドー：旧市街のシェアカー・ポート



パリ：トラム駅至近のシェアカー・ポート



トンネル入り口。中央のシンボルマークが構造をあらわしています



トンネル最上層の導水ゲート部分

てシェアサイクル、レンタルサイクルなどのサービスが展開され、道路空間の風景が変化してきていると感じます。本稿では、筆者が海外出張あるいは駐在中に目にした、日本とは異なる道路空間の使われ方をご紹介します。旧聞に属するものもありますが、ご容赦いただければと思います。

欧州では交通シェアサービスが広く展開されています。フランスのパリ、ボルドーなどの主要都市では、道幅の狭い旧市街も含め、多くの場所でシェアサイクルポート、シェアカーポートを目にしました。充電や利用開始手続きのための施設キオスクも路上に設置されていて、道路空間の利用に非常に柔軟な姿勢がみられました。いずれ自動運転技術が進化した際は、これらの路上空間が自動運転タ

クシー向けのインフラとして姿を変えていくと思われま



オークランド：コンクリートブロックの中央分離帯が朝夕で移動



ウィーン：夕暮れ時の自転車通勤ラッシュ

熱帯雨林気候に属する東南アジアのマレーシアでは、スコールと呼ばれる激しい夕立やモンスーンと呼ばれる季節風の影響によって、短時間で多量の降雨がみられます。首都クアラ・ Lumpur は、クラン川とゴンバック川が合流する市内中心部において度々浸水被害を受けてきました。一方、他のアジアの都市と同様、経済発展に伴い都市内の交通渋滞が課題となっています。そこで、S M A R T (The Stormwater Management And Road Tunnel) という、世界的にもユニークなトンネルが2007年に整備

されています。このトンネルは3層構造になっていて、通常時は上部2層が渋滞箇所をバイパスする普通自動車専用の有料道路として使われます。しかし、トンネル内には最下層から上層へと放流水を導くゲート等が整備されており、洪水時には最初に最下層が、そして洪水規模に応じて2層目も、あるいは3層のすべてが放水路として用いられ、市内中心部の浸水被害を防ぐ役割を果たします。本



プロフィール
すずき しょういち
鈴木 彰一

国土交通省九州地方整備局企画部企画調整官。2007年3月から2010年3月まで在マレーシア日本国大使館勤務。2010年4月から2016年3月まで国土技術政策総合研究所ITS研究室勤務。

ほかに、オークランドでは朝夕の道路渋滞を解消するため、可動式のコンクリート中央分離帯を毎朝夕専用機械で移動させ、方向別の車線数を変えていたり、ウィーンでは自転車道が縦横無尽に整備され朝夕に通勤自転車の大群が走り回っていたりと、世界では道路空間の活用がずいぶん柔軟に行われています。冒頭で述べたとおり、日本でも道路空間の使われ方が変化してきていると感じます。今後、国内各地域の事情にあわせた道路空間活用の試みが数多く行われることを期待しています。(写真はすべて筆者撮影)

道守 人物伝

花いっぱい心豊かな街を目指して

門司港レトロ花の会 代表 北里幸良さん(77歳)

北九州市を代表する観光名所、年間二〇〇万人が訪れる門司港レトロを花いっぱい心豊かな街にすることを目標して「一日一笑一善おもてなし」を目標にボランティア活動をはじめて十七年目になります。三六五日毎日活動を続け、ボランティアが生活の一部になっています。

八年前から北九州市道路サポーター「門司港レトロ花の会」の代表として活動をしています。活動の内容は、清掃・草刈り・草取り・花木の植付け・花木の剪定育成・花壇づくり・雑草対策など多岐に亘っています。活動範囲は、西海岸からめかりまで門司港関門側全体に渡り、延べ一〇kmになります。

会の活動は絶対無理せず、参加できる人が参加できる時、参加できることを基本にしています。毎週土曜日(十三時集合) 指定日にして活動をしています。指定日以外でも自分のできる時に活動しています。

市民の参加も増え、現在十七年間の活動が実を結び、水仙・ガザニア・チューリップ・シラン・ゼラニウム・あじさい・藤・彼岸花・ひまわり・コスモスの花など四季折々、一年中七〇種類の花々が咲き誇って、観光客をはじめ散歩や行き交う人々の目を楽しませています。



道守たちのトピックス

道路協力団体について

道路協力団体制度とは、沿道における身近な課題の解消や道路利用者のニーズへの対応などの活動に自発的に取り組む民間団体等を支援するものであり、これらの団体を道路協力団体に指定し、道路管理者と連携して活動する団体として法律上位置づけることにより、自発的な活動を促進しようとするものです。

道路協力団体に指定されると、活動を行う上で必要となる道路の占用又は道路に関する工事若しくは道路の維持について、道路管理者との協議の成立をもって、道路管理者の許可又は承認があったものとする事となります。

現在、九州では平成28年度に4団体を指定しております。平成30年度の募集について詳細が決まりましたら、九州地方整備局のHP等でお知らせいたします。

平成28年度に指定された団体の活動状況



特定非営利活動法人 道守長崎(長崎)



けやき通り発展期成会(福岡)



日南海岸地域シーニックバイウェイ推進協議会(宮崎)



道守大分会議(大分)

道守通信 編集後記

〇今年のみちづくし大会は10月5、6日に佐賀で開催されます。テーマは、「わくわくドキドキ輝く道守」(道守の一人一人が主役)です。それぞれの地域で活動されている道守の皆さんの活動自慢をはじめ、お勧めスポットや様々な情報を発表していただくことが目的です。初めての試みですが、楽しく、ワイワイ・ガヤガヤと大いに盛り上がりた願っています。

〇巻頭インタビューは、道守佐賀会議の方たちが佐賀県の山口知事を訪ねました。佐賀は、道守はじめボランティアなどCSO(市民社会組織)が活動しやすい地域であり、現在まで7つの県外CSOが佐賀県を拠点に活動中とのことです。道守活動が、県内外の道守・地域住民と県域を超えて連携することに期待されており、私たちに一つのテーマをいただいたように思います。

〇平成28年12月に公布された自転車活用促進法による道路整備については、34号に掲載しましたが、今回は、宮崎と大分のサイクリングを活用した取り組みを紹介しました。宮崎の道路協力団体が始めた日南海岸きらめきラインにおいて風景・歴史・文化・食を繋ぐサイクルツーリズム。大分は、JR杵築駅を起点にしたレンタサイクルによるモニターガイドツアーの社会実験です。今後の発展が楽しみです。

～道守通信 vol.35秋号へ協賛いただいた皆様(団体・企業)～

※順不同

(株)三原建築設計事務所		
--------------	--	--

～道守を支援いただいている賛助会員の皆様(団体・企業)～

※順不同

(一社)九州地域づくり協会	九州国道協会	九州電力(株)
(一社)プレストレストコンクリート建設業協会 九州支部	(一社)日本道路建設業協会 九州支部	福岡市道路利用者会議
(一社)福岡県建設業協会	福岡県道路協会	(株)大林組 九州支店
(一社)佐賀県建設業協会	佐賀県道路愛護協会	鹿島建設(株) 九州支店
(一社)長崎県建設業協会	長崎県道路協会	建設サービス(株)
(一社)熊本県建設業協会	熊本県道路利用者協会	清水建設(株) 九州支店
(一社)大分県建設業協会	大分県土木建築協会	大成建設(株) 九州支店
(一社)宮崎県建設業協会	宮崎県道路利用者協議会	長幸建設(株)
(一社)鹿児島県建設業協会	鹿児島県道路利用者協議会	日新興業(株)
九州技術支援協議会	(株)熊谷組 九州支店	みちを考える会
朝日開発コンサルタンツ(株)	朝日工業(株)	朝日テクノ(株)
(株)アジア技術コンサルタンツ	(株)アップス	(株)安部日鋼工業 九州支店
(株)安藤・間 九州支店	鳥城塗装工業(株)	(株)エスイー 九州支店
NTT インフラネット(株) 福岡支店	NTT インフラネット(株) 熊本支店	NTT インフラネット(株) 鹿児島支店
扇精光コンサルタンツ(株)	大分瓦斯(株)	大分県建設業協会 大分支部
大分県道路舗装協会	大分交通(株)	(株)大島造船所 九州営業所
(株)荻島組	(株)オリエンタルコンサルタンツ 九州支店	鹿児島土木設計(株)
(株)片平新日本技研 福岡支店	上内電気(株)	川田建設(株) 九州支店
(株)カンドー 九州支店	九建設(株)	(株)九州開発エンジニアリング
九州建設コンサルタント(株)	九州地区道路利用者会議	九州みちの会
協同エンジニアリング(株)	(株)橋梁コンサルタント 西日本支社	(株)建設環境研究所 九州支社
(株)建設技術研究所 九州支社	(株)建設技術コンサルタンツ	(株)建設技術センター
(一社)建設コンサルタンツ協会 九州支部	コアツ工業(株)	(株)国土開発コンサルタント
(株)駒井ハルテック 九州営業所	(株)西海建設	(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
(株)サタコンサルタンツ	三州技術コンサルタント(株)	昭和コンクリート工業(株) 九州支店
新成建設(株)	(株)新日本技術コンサルタント	(株)親和コンサルタント
(株)末宗組	(株)西部技建コンサルタント	(株)センコー企画
(株)総合技術コンサルタント 九州支店	そうじの会(多久の未来を創る会)	(有)測量企画センター
(株)そよかぜ館(「道の駅大和」)	大日本コンサルタント(株) 九州支社	大福コンサルタント(株)
太陽技術コンサルタント(株)	(株)高山組	瀧上工業(株)
宅島建設(株)	谷川建設工業(株)	(株)玉の湯
(株)地域科学研究所	中央コンサルタンツ(株) 福岡支店	中央復建コンサルタンツ(株)
(株)長大 福岡支社	(株)長大テック福岡支店	通信土木コンサルタント(株) 九州支店
(株)東亜コンサルタント	東急建設(株) 九州支店	(株)東京建設コンサルタント 九州支社
(株)東豊開発コンサルタント	利光建設工業(株)	戸田建設(株) 九州支店
(株)友岡組	(株)友岡建設	(株)名村造船所 福岡営業所
南生建設(株)	(株)西九州道路	西日本技術開発(株) 土木管理部
西日本建技(株)	西日本コンサルタント(株)	西日本コトラクト(株)
(株)日建コンサルタント	日鉄鉦コンサルタント(株) 福岡支店	(一財)日本造園修景協会 大分県支部
日本地研(株)	(株)野村建設	葉隠会道守部会
(株)萩原技研	パシフィックコンサルタンツ(株) 九州支社	(株)ピーエス三菱
(株)日高時計本店	(株)福山コンサルタント	(株)富士設計
(株)富士ピー・エス	(株)ぶぜん街づくり会社(「道の駅」豊前おこしかけ)	復建調査設計(株) 九州支社
前田建設工業(株) 九州支店	松尾建設(株)	松本技術コンサルタント(株)
(株)丸福建設	(株)水野建設コンサルタント	(有)道の駅みえ
宮崎空港ビル(株)	(株)宮崎産業開発	宮地エンジニアリング(株) 福岡営業所
八千代エンジニアリング(株) 九州支店	(株)ヤマウ	(株)ヤマックス
龍南建設(株)	(株)ワンステップ	
個人会員70名		



発行 「道守九州会議」

広報誌「道守通信」秋号
平成30年9月発行

「道守九州会議」事務局

■道守支援室(九州地方整備局道路管理課内)
〒812-0013 福岡市博多区博多駅前2丁目10番7号
TEL.092-471-6331(代) FAX.092-476-3481

■(一社)九州建設技術管理協会内
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目19番3号
TEL.092-471-0189 FAX.092-414-0767

道守HP <http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/michimori/> e-mail michimori@qsr.mlit.go.jp